

令和6年度

外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 事業成果報告書

【外部講師を活用して実施するがん教育の推進に係る取組】

1 事業の具体的内容について

(1) 自治体における取組

① 協議会について

1. 構成員

香川県学校医代表（小児科医）、香川県医師（呼吸器内科兼総合内科）、
香川大学医学部附属病院緩和ケア認定看護師、香川県小学校教育研究会学校保健部会長、
香川県中学校教育研究会保健体育部会長、香川県高等学校教育研究会保健体育部会長、
香川大学教育学部（准教授2名）、香川県PTA連絡協議会代表（副会長）、香川県看護協会代表（専務理事）、
香川県健康福祉部健康福祉総務課代表、香川県教育委員会事務局保健体育課（課長 外3名） 計15名

2. 開催時期、検討内容

○第1回協議会（7月29日：オンライン会議）

- ・令和5年度香川県教育委員会がん教育の実践報告
- ・令和6年度がん教育ゲストティーチャー派遣事業の説明

○第2回協議会（2月6日：集合型会議）

- ・令和6年度香川県がん教育ゲストティーチャー派遣事業の実践報告
- ・令和7年度香川県がん教育ゲストティーチャー派遣事業（案）の説明

② 教育委員会としての取組

○がん教育研修会（オンデマンド研修）

本研修は新学習指導要領に対応したがん教育の実施に向けて、教職員やがんに関する専門職であるゲストティーチャー（以下GTとする）に対し、本事業の流れや、学校におけるがん教育を進めるための教材や留意事項について研修を行い、がん教育の普及・啓発を図ることを目的として実施する。

<第1回>

- ・日時：令和6年8月16日（金）～令和7年3月28日（金）
- ・対象：県内公立学校の教職員、GT、がん教育協議会委員、がん教育に興味のある方等
- ・演題：「学校におけるがん教育の充実をめざして」
- ・講師：香川県教育委員会事務局保健体育課 学校保健担当指導主事
- ・内容：学校におけるがん教育の基本的な考えや目標、学習指導要領におけるがん教育の取り扱い、授業で使用する教材等、GT派遣事業及び学校との事前打合わせの流れ 等

<第2回>

- ・日時：令和7年1月6日（月）～令和7年8月29日（金）
- ・対象：県内公立学校の教職員、GT（候補者含む）、がん教育協議会委員等
- ・演題：「学校におけるがん教育の実際
～カリキュラム・マネジメントを踏まえた指導の在り方を中心に～」
- ・講師：日本女子体育大学体育学部健康スポーツ学科 教授 助友 裕子 氏
- ・内容：がん教育の実際と課題、疾病等の「リスク」をとらえる指導方法の工夫、がん教育で社会に開かれた教育課程の実現 等

○がん教育授業の公開

9月～1月に授業公開を行い、希望する教職員、がん教育協議会委員、がん教育に興味のある方を対象に案内をした。6校（小学校3校、中学校3校）で授業公開し、のべ26名の参加があった。

報道機関への授業公開を行った3校のうち、1校については2社からの取材（新聞社、テレビ局）があり、がん教育の周知につながった。

③ 保健部局や地域の専門機関等との連携

○香川県看護協会との連携

前年度中に、香川県看護協会と本事業の流れや派遣調整方法等について打合せを行い、GTの候補者として、県内の認定看護師や専門看護師等を紹介していただいた。

香川県看護協会が今年度、新規に「がん教育GT担当者会」を開催し、学校保健担当指導主事からは前年度の実施状況や実績報告を行い、今年度の事業内容や、使用する教材等について説明を行った。がん教育協議会委員である看護師による模擬授業や、情報交換の時間もとられており、初めてGTとなった方だけでなく、複数回経験のあるGTにとっても交流することで不安が解消したと大変好評であった。

○香川県健康福祉部健康福祉総務課との連携

がん教育の普及の一環として、香川県が作成した「がん教育の手引き」を県のホームページ上に公開するとともに、データの更新を健康福祉総務課に依頼した。また、がん患者会等への研修会・授業公開の案内を依頼した。

（2）外部講師を活用したがん教育の授業

<事業活用希望調査>

県内公立学校に対し、がん教育の授業や研修会等にGTを派遣する事業案内を行い、希望調査を行った。がん教育の授業は、香川県が作成している「がん教育の手引き」や文部科学省の教材等（併用可）を活用し、実施することとした。募集を前年度2～3月にすることで、学校の年間計画にがん教育を位置付けられるように工夫した。

【応募期間】 令和6年2月21日（水）～3月11日（月）

【派遣期間】 令和6年8月26日（月）～令和7年2月3日（月）

【派遣校数】 19校（小学校 9校、中学校 10校） 希望校すべてに派遣

<事前打合せの充実>

授業者とGTは、県教育委員会が公開しているがん教育研修会（第1回）を視聴してから事前打合せをするよう、事業実施要項で示した。事前打合せシートを活用し、がん教育を行う上での配慮事項や、教育的位置づけ等、基礎的な知識や事業の流れを両者が抑えておくことで、事前打合せでは、それぞれの役割分担や配慮を要する児童生徒の対応等に重点をおくことができた。

<さぬき市立寒川小学校>

実施科目：6年生 特別活動「学級活動」

本時では、2学級合同での授業であり、1名の担任が児童の実態にあった授業展開を、もう1名の担任が板書や配慮を要する児童の支援を、GT（がん性疼痛看護認定看護師）は、がんの正しい知識について説明をするという役割分担をした。担任が3年生の時に「ガンダーをやっつけろ」（香川県がん教育の手引き）の紙芝居をつかって学習した内容を振り返った後、担任が資料をもとに授業を進行し、GT



からがんの正しい知識について詳しく、かつ児童にわかりやすく説明していただいた。病院でのがん治療がチームで行われており、医者や看護師、たくさんの専門家が患者さんや家族を支えていることなどもお話いただき、児童たちはGTの話を生懸命メモをとりながら聞いていた。

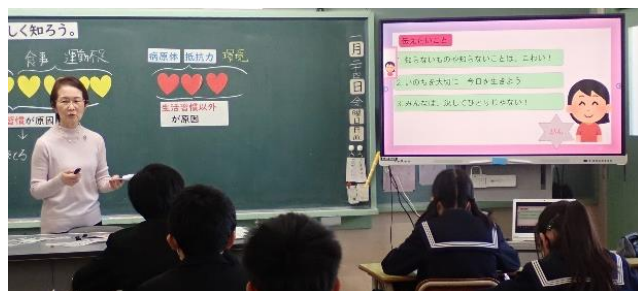
児童たちは、がん教育を通じて、自分の健康だけでなく家族の健康も大切と考え、自分にできることを主体的に考えていた。

<高松市立下笠居小学校>

実施科目：6年生 特別活動「学級活動」

養護教諭が生活習慣調べの結果や、がんに関するクイズを行い、日本人の2人に1人はがんになることや、香川県の死亡原因の1位はがんであること、がん細胞は毎日作られている、ということから、自分にとっても身近で、放っておけない大切な問題であると話し、授業への意識を高めた。GT（がん経験者）からは、自分のがんが見つかった経緯や、診断時、治療中、治療後の不安や葛藤、自身の家族や友人、がん経験者の仲間への思いを児童に語ってくださった。

自身の経験から、「知らないものはこわい」だからこそ、がんについても正しく理解することが大切であることや、「いのちを大切に、今日を生きよう」、命は限りがあって、かけがえのないものであること、「みんなは決して一人じゃない」、あなたを心配している人がいる、助けてと言う勇気も大切であると語り、児童はGTの話を目を見て、うなずいたり、メモをとったりしながら真剣に聞いていた。



<高松市立太田中学校>

実施科目：2年生 特別活動「学級活動」

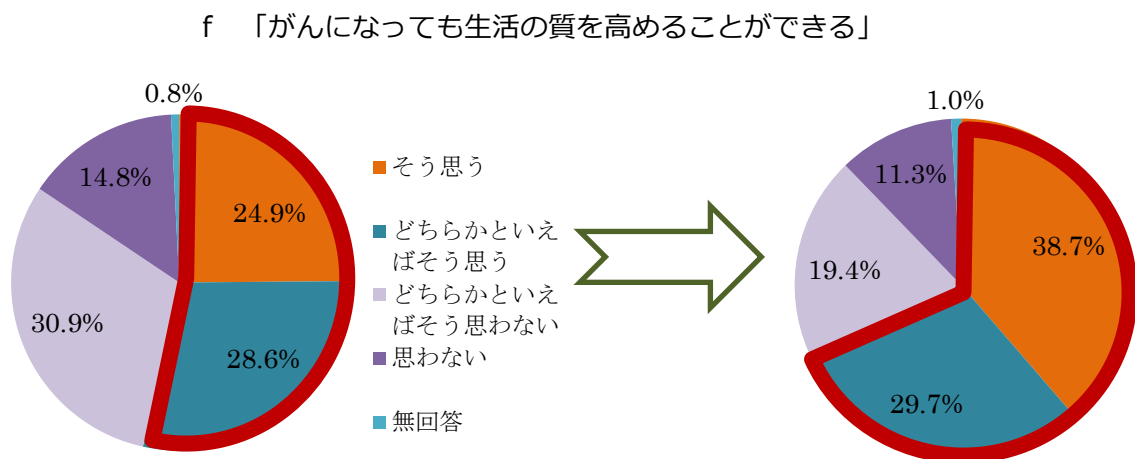
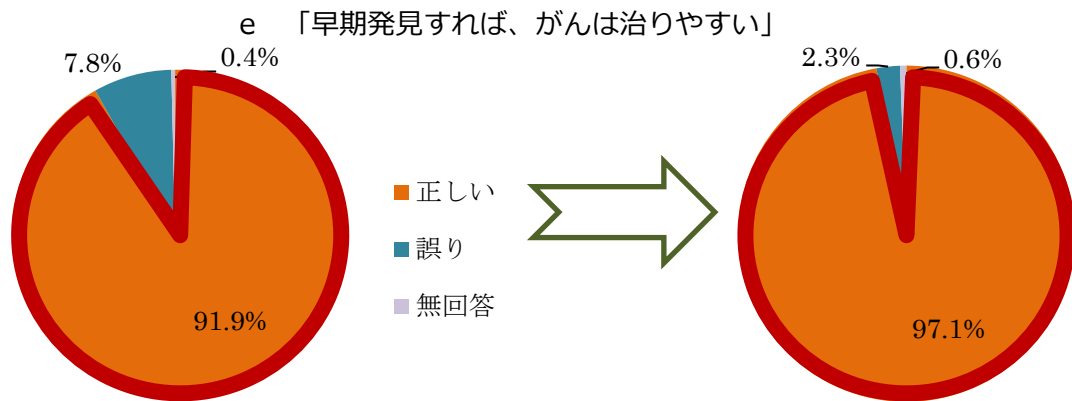
事前に保健体育で「がんの予防」について学習し、本時はDVD「がんちゃんの冒険」を視聴したあと、GT（緩和ケア認定看護師）から、小学校や、中学校で学習した病気の起こり方や、がんの予防について触れながら、生徒が理解しやすいように話を進めていただいた。緩和ケアは患者さん自身の体の痛みへの対応はもちろん、患者、家族の生活をどうしていくのかという不安や、心のケアなど、様々な職種の専門家がチームとなって、支えているという話は、生徒にもわかりやすく、真剣に聞いていた。

中学校では、生徒数が多い学校においては学年全体での講演会形式となる学校が多く、一方的な話になることもあるが、生徒が司会進行をしたり、話し合いの時間をとったり、GTへの質問をするなど、生徒が主体的に授業に向き合えるよう、工夫がされていた。



2 事業の達成度について

GT は、授業の中で、がんの予防のために生活習慣を整えることはもとより、定期的な検診を受けて、自分の体を大切にすることが大切であると説明していた。また、早期発見によりがんは治りやすいこと、様々な治療方法が研究されていることや、がんと診断された時から緩和ケアが行われており、がんになってもその人らしく充実した生き方ができるよう、患者や家族への支援が行われていることについても、経験談をふまえ、説明していた。児童生徒に行ったアンケート結果から、授業後に以下のような意識の変容が伺え、正しい知識の理解につながったと考えられる。



3 今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題等）

- GT と学校との打ち合わせの充実
 - ・事前打ち合わせシートの内容の整理を行う。
- 全ての希望校へ派遣が可能な体制整備
 - ・事業の予算での派遣が見送られた場合も、GT を希望する学校に対し紹介できるよう、仕組みを作るため、香川県看護協会、県健康福祉総務課と協議する。
- GT の増員
 - ・がん経験者や保健師、退職看護師（がん看護経験者）を GT 候補者とできるよう調整する。
- がん教育で使用する教材
 - ・香川県がん教育の手引きから、文部科学省作成教材を中心に活用するように移行していく。県内データについては、香川県がん教育の手引きのデータを更新して、活用できるようにする。